

2025 年のノーベル生理学・医学賞が制御性 T 細胞を発見した坂口志文先生ら 3 名に決まりました。皮膚の分野では、生物学的製剤を含めた新しい治療薬が次々と登場し、難治性のアトピー性皮膚炎や乾癬だけでなく、円形脱毛症などの難治性疾患にも有効な薬剤が出てきています。これらの疾患の発症メカニズムや薬剤の作用の説明のなかで、制御性 T 細胞は重要な位置を占めています。日本人の医学への貢献が高く評価され、ノーベル賞受賞者が山中伸弥先生、大隅良典先生、大村 智先生、本庶 佑先生と続いています。

医学以外の分野をみると、大阪の万国博覧会が大盛況のなか閉会を迎えました。ロンドンでは大相撲の海外巡業が行われ、盛況だったようです。米国ではメジャーリーグでドジャースの大谷翔平選手と山本由伸選手、佐々木朗希選手が大活躍しています。様々な分野での日本の活躍はうれしい限りです。困ったこともあります。東京・浅草の雷門や上野東照宮に行くと、日本人はほとんどいなくて、英語、ドイツ語、中国語、韓国語など様々な外国語が行き交っていました。京都や富士山などの観光地も外国人であふれているそうです。日本の文化や遺産が海外で高く評価されるのはよいのですが、海外からあまりに沢山の観光客が日本に押し寄せてこられて、日本の観光地から日本人が追い出されるのも困ります。

さて、今月は爪をテーマに特集を組んだ増大号です。爪は、表皮の角質が変化・硬化してできた小さな皮膚の付属器のひとつですが、指趾の働きを助ける重要な器官であり、また手の爪は機能だけでなく、外見にも影響することから、爪の疾患は quality of life に大きな影響を与えます。爪の変形を考えると生検もためらわれ、また生検して診断がついたとしても、治療効果が不十分なことが多く、診断や治療が難しい部位です。本増大号では、「爪診療アップデートー見逃さない・迷わないためのプラクティカルガイドー」と冠して、爪の様々な病変について専門家の先生に最新の診断・治療法を執筆いただきました。例えば爪白癬では、具体的な抗真菌薬の選択肢が紹介されていますし、また巻き爪の矯正方法や、陥入爪の対処なども図を交えて詳細に記載されています。爪に関連する症例報告も多数掲載されています。じっくりと読んでいただき、日常診療の参考にしていただけると幸いです。

(林 伸和)

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第 67 巻 第 12 号 11 月増大号

2025 年 11 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行）
定価 5,060 円（本体 4,600 円＋税 10%）

年間購読料金
定価 50,160 円（本体 45,600 円＋税 10%）
〔年間 13 冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕
TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕
FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005
広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。